

2020年度第3回公立大学法人公立諏訪東京理科大学経営審議会議事録

日 時 2020年10月16日(金) 13:30～14:15

場 所 遠隔会議(Zoom使用)

出席者 唐澤議長、小越委員、松江委員、今井委員、岩崎委員、武田委員、渡邊委員、牛山委員、
(瀨財務課長、加藤教務・学生支援課長、長田総務課係長)

欠席者 小林委員、細田委員、小平委員

[配布資料]

1. 公立大学法人 公立諏訪東京理科大学 令和元年度 業務実績に関する評価書(資料1)
2. 2019年度業績評価報告書 事務組合法人評価委員会の評価と年度計画への反映について(資料2)
3. SUS TIMES No.4(参考資料)
4. 蓼科の風 No.5(参考資料)

[議 事]

1. 公立大学法人公立諏訪東京理科大学令和元年度業務実績に関する評価書について

唐澤議長及び牛山委員から資料1をもとに、公立大学法人評価委員会からの本学に対する評価書について全体評価について「中期計画の進捗は順調」との評価を得たこと、今後に期待することとして融合教育の推進、女子学士絵の志願者増加の方針の検討、目標設定の根拠の明確化が挙げられていること等報告があった。

2. 2019年度業績評価報告書 事務組合法人評価委員会の評価と年度計画への反映について

牛山委員から資料2をもとに、報告案件1の法人評価委員会の評定を受けて、各部門において2020年度の年度計画について検討し活動に反映したとの報告があった。

3. 新型コロナウイルス感染症対策下における本学の対応(後期授業等)について

唐澤議長より、10月より後期授業が始まる中での本学の新型コロナウイルス感染症対策下における対応について、どのような状況でも学生が勉強をしっかりとできる環境を整備することを重要な課題としてとらえ、後期の授業はこれまでの状況を踏まえて遠隔授業を中心として学科が必要と認める科目は対面で実施すること、大学として5段階の活動レベルを設定し感染状況の変化に応じて対応を行うこと、1年生のための交流イベントをオンラインで実施したこと、今後も1年生の登校機会を増加できるよう検討すること、本学の学費に関する考え方を9月にホームページで公表したこと等報告があった。

4. その他

上記報告案件を受けて、各委員より質問・意見交換があった。

①武田委員より信州大学の新型コロナウイルス感染症対策の状況や今後の対応について、1年生の登校機会増加や精神的フォローの大切さについての意見があった。

②岩崎委員の県内や諏訪地域からの学生受け入れ戦略についての質問に対し、全国枠を新設し県内枠を分離することで募集定員を実質的に増加や県内高校へのアプローチを強くする等の対策を取っていると回答があった。

③渡邊委員のコロナ禍における在学生の休学・退学等の影響についての質問に対し、この影響による休学者はいないとの回答があった。

以上